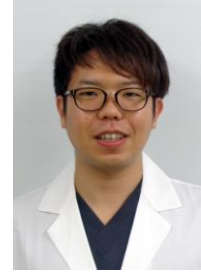


和歌山病院での実習を終えて



船井 政希

今回呼吸器内科の実習の一環として、2日間実習をさせていただきました。肺結核についてのレクチャーを副院長の駿田先生にいただき、結核の病態、治療、対策などについて理解を深めることができました。院長の南方先生からは、胸部 X 線の仕組み、読影方法についてのレクチャーをしていただきました。今までは、胸部 X 線の画像所見は覚えるものだと思っていましたが、南方先生に御指導いただいたことで、胸部 X 線所見は考えて見るものだということが理解でき、考えて見ることができれば、胸部 X 線を読み取ることは、さほど難しいことではないと感ずることができるようになりました。他にも南方先生にはブロンコ体操を教えていただき、今まで複雑で暗記しにくい分野だと思っていましたが、身体を動かすことで覚えることができました。

国立病院機構和歌山病院での2日間の実習は、座学では理解できないことが身をもって実感でき、とてもいい刺激となりました。2日間お世話になりました、院長の南方先生、副院長の駿田先生を始め、多くの先生方には多くのことを御指導いただき、非常に充実した病院実習をさせていただき、ありがとうございました。今回の実習で学んだことを今後の勉学に取り入れ、より一層勉学に励みたいと思います。また、和歌山病院に行く機会がありましたらよろしく申し上げます。